

接続語 レベル2

日 前
月 名

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「それは理想にすぎない」というような言葉で若者を批判する者がいる。(1) 若者は時に実現不可能に見える理想を言うものだ。(2) 私はこう思う。若者が理想を追求しなかったら誰が理想を追求するのだろう。人類は原始時代から現代に至るまで少しずつ進歩・発展を重ねてきた。たとえば鳥のように空を飛びたいという一見すると実現不可能な理想を追求し続けたからこそ、飛行機という偉大なる発明がなされたのである。いけば理想を追い続けるからこそ進歩・発展があるのだ。(3) 理想を追う若者を批判する者は、これ以上人類の進歩発展は不要であると表明しているようなものである。(4) 、理想を述べるだけで実現にむけて何らの努力もしない若者については私も批判したい。(5) それでは文句ばかり言って行動できない老人と何ら変わりがないからである。

ア だから イ 確かに ウ だが エ なぜなら オ ただし

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「分析」という言葉の意味を知っていますか。「分析」とは「部分や要素に分けて考える」ということです。(6) 、ここに四角形があるとします。辺を一つ一つ測ってみましょう。辺Aは4cm、辺Bも4cmと測っていくと4辺すべてが4cmでした。また角も測ってみます。角Aは90度、角Bも90度と測っていくと4つの角すべてが90度でした。これが「分析」ということですが、このままでは単に辺や角についてのデータがバラバラにあるだけです。(7) 必要な作業が「総合」です。「総合」というのは「個々別々のも



のを一つに合わせてまとめること」です。「この四角形は角がすべて90度(8) 辺の長さがすべて等しい四角形である。(9) これは正方形である」というようなことをするのが「総合」です。この「分析」と「総合」をうまく使いこなせるようになれば、

(10) 子供であっても論理的にものを考えることができようになります。

カ かつ キ たとえば ク したがって ケ たとえ コ 次に